

竹を使ってろうそく立てを作ろう！

(1) 概要

竹を利用したろうそく立てを作ります。夜の活動のナイトウォークの携行品となります。

長い竹を節の部分を残して切り落とし、竹コップのような形を一人一つずつ作ります。また、竹の中に入る大きさの輪切りの木の中心に、釘を打ち付け、ろうそく立てを作ります。



(2) 準備物

- ・竹
- ・のこぎり
- ・台（竹を切る際、下の台となるもの）
- ・釘（ろうそくの穴に合わせたもの）
- ・木の輪切り（竹に入る大きさのもの）
- ・ろうそく
- ・紙やすり
- ・軍手（子ども）

※準備物については原則、団体でご準備いただくことになります。（詳しくは、P119の<ご注意>を参照してください。）

(3) 手順

- ① 竹の節を残して切り落とします。枝部分があれば、切り落としコップの形にします。
- ② 切り口は、紙やすりをかけてなめらかにします。
- ③ 竹に入る大きさの木の輪切りを選び、中心に釘を打ち付けます。
- ④ 釘にろうそくを立て、竹の中にまっすぐになるように入れます。

(4) アクティビティのポイント（特性）

- ① 切る前に竹を触ったり臭いを嗅いだりして、竹のもつ特性を十分感じることができます。
- ② 竹ろうそく立てが、夜の活動へつながることを、明確に子どもたちに伝えておくことで活動のつながりを持ち、意欲が向上します。

(5) 留意点

- ① のこぎり（刃物）の取り扱いには使用中、それ以外を問わず十分注意します。
- ② ろうそくを入れた際、ろうそくの先が竹から出ない長さに竹を切ります。

